

新型コロナ感染 急拡大 どう抑えこむ?

感染拡大が止まりません。ところが政府はなんの対策もとらず、自治体まかせ。国民には“旅行や帰省は自分でよく気をつけて”というだけです。



感染震源地での集中検査を政府に申し入れる志位和夫委員長（中央）と田村智子政策委員長（右）が、7月28日、内閣府

エピセンター
「感染震源地」に住む人、働く人すべてを対象に

PCR検査の 抜本的強化を

感染力をもちながら無症状の人たちが繁華街などに集まり、知らず知らずに感染を広げ、「感染震源地」となって、さらに県をこえて拡大—いまの感染急拡大の仕組みです。震源地で働く人、住む人すべてを対象にしたPCR検査を実施し、感染者を見つけ出すことが急務です。

目的は「無症状でも感染力もった人」の発見

休業要請は補償とセットで 要請をする以上、損失を公的に補償するのは当然です。

国会ひらき、すぐ対策の検討を

制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

折り目

安倍首相 辞任へ

臨時国会 速やかに 十分な審議を

志位委員長が会見



辞任表明会見をする安倍首相は8月28日放映のNHKニュースより



記者会見する志位和夫委員長=8月28日、国会内

安倍首相は8月28日、持病が再発し職務継続が困難になったとして辞任を表明。 **日本共産党**

日本共産党の志位和夫委員長は同日、記者会見しコメントしました。

一、病気が理由での辞任ということですから、これはやむを得ないと考えます。じっくりと治療され、健康を回復されることを願っています。

一、国政は、コロナ対応をはじめ、一刻の空白あるいは遅滞も許されないことはいうまでもありません。ですから、速やかに臨時国会を開催し、後継首相を指名し、新首相のもとで、衆参

新しい政治に転換を

の代表質問、予算委員会をしっかりと行う、そして国政の基本問題についての十分な審議を行うことを強く求めたい。

一、わが党としては、7年8カ月の安倍政権に対して、あらゆる分野で正面から対決してたたかってきました。今後も市民と野党の共闘の力で、自民党政治の抜本的な転換を求めてたたかっていきたいと決意しています。

近畿民報

2020年9月 No.1 (第427号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。